

6. 内藤病院クリティカルラダー別目標

<看護師>

	ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	ラダーⅤ
	新人	卒後2年目	卒後3～4年目	卒後5～7年目	卒後8年目以上
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職業人としての自覚を持つことができる 2. 根拠を明確にし、基本的な看護技術を実践できる 3. チームメンバーの役割を理解し行動できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の看護行為に価値をみだし、主体的に看護が実践できる 2. 看護に必要な知識を習得し、知識に裏付けされた正しい技術を実践できる 3. メンバーシップが発揮できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実践者として個別性を重視して技術の提供ができる 2. 自己の看護観を持ち表現できる 3. チームリーダーとしての役割が果たせる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経験に基づいて状況を全体として把握し、長期的な見通しができる 2. 看護課題を見出し探求し、問題解決に関して優先順位を考えて対応できる 3. 看護実践者として役割モデルになることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門分野に精通し、創造性のある看護を提供できる 2. 看護部内の問題を理解し、組織目標のために行動できる 3. 看護部内でリーダーシップを発揮できる
管理能力	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の組織・機能を理解し指導を受け行動できる 2. 病棟および他部署の役割、業務内容を理解できる 3. メンバー・リーダーの役割を理解しメンバー業務ができる 4. 医療安全、感染について理解し、指導を受け行動できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の組織・機能を理解し行動できる 2. 病棟及び他部署の役割、業務内容を理解し行動できる 3. メンバー・リーダーの役割機能を発揮する 4. 医療安全、感染について発生時に適切に行動できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の組織・機能を認識し行動できる 2. 各病棟及び他部署の連携及び調整ができる 3. リーダーシップを発揮できる 4. 医療安全、感染について発生時に迅速に行動できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の組織・機能を認識し行動モデルになれる 2. 各病棟及び他部署の連携及び調整を円滑に推進する 3. 患者や看護スタッフに注意をはらうことができる 4. 医療安全、感染について指導及び実践ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当院の組織・機能を認識し行動モデルになれる 2. 各病棟及び他部署の連携及び調整を円滑に推進する 3. 看護管理上の問題の発見やその解決のための方法を管理者とともに考えることができる 4. 医療安全、感染について防止策を考え指導及び実践ができる

看護実践	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者を理解し良好な人間関係を構築できる 2. 基礎看護技術を習得する 3. 看護過程の展開を習得する 4. 緊急時指示を受け行動できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者を理解し患者・家族と良好な人間関係の確立を振り返ることができる 2. 基礎看護技術を個別に応じた実践できる 3. 個別に応じた看護過程の展開ができる 4. 支援を受けながら緊急事態に対応できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者を理解し患者・家族と良好な人間関係の確立を振り返り評価できる 2. 基礎看護技術を客観的データや身体上の変化を観察し判断できる 3. 個別に応じた看護過程の展開が倫理的根拠をもってできる 4. 緊急事態に対応することができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 熟練した看護技術を用いてケアでき、他のメンバーに指導できる 2. 基礎看護技術を倫理的根拠をもって指導し実践モデルとなれる 3. 看護過程の展開を評価し倫理的根拠をもって指導できる 4. 緊急時にリーダーシップを発揮し対応できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護における対人関係で役割モデルとなれる 2. 専門的かつ高度な看護の実践モデルとなれる 3. チーム医療における看護過程の展開を指導できる 4. 緊急時に全体をみて、他部署との連携や患者・家族との連携がとれる
教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人、職業人としての行動がとれる 2. 主体的な自己学習の必要性が理解できる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の看護観を表現できる 2. プライマリナーズの体験を通して主体性が身につく 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の看護観から看護に対する課題を見つけることができる 2. プリセプターの役割がとれる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 能力開発・キャリア開発を主体的に実践する 2. 学習の成果を後輩育成に活かし、教育的活動を実践する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門職業人としての能力やキャリアの開発を主体的に実践する 2. 人材育成の視点で院内の教育活動を実践できる
研究	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究に関心を持ち参加する意欲がある 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究チームの一員として、割り当てられた研究の一部を行う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究を計画的に遂行する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究を進め、院内外に広めることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の指導し、研究を臨床で応用できる